

多文化共生社会の構築に関する万国津梁会議

令和6年9月25日(水) 10:00-12:00

◆◆会次第◆◆

1. 開会
2. 委員紹介
3. 審議事項
 - (1) 委員長・副委員長の選任
 - (2) 本会議の目的、進め方、スケジュール
 - (3) 沖縄県多文化共生推進事業のふりかえり
 - (4) 多文化共生推進に関する意見交換

審議事項(1)委員長・副委員長の選任

No.	氏名	ふりがな	所属・役職
1	宮城 淳	みやぎ あつし	公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団 理事長
2	倉科 和子	くらしな かずこ	JICA沖縄センター 所長
3	新居 みどり	にい みどり	NPO国際活動市民中心 理事 / コーディネーター
4	高橋 美奈子	たかはし みなこ	琉球大学教育学部 准教授
5	山本 和儀	やまもと かずよし	山本クリニック 院長
6	白 充	ペク ちゅん	法律事務所 春 代表
7	オジャ ラックスマン	おじゃ らつくすまん	沖縄ネパール友好協会 幹事長

審議事項(2)本会議の目的、進め方、スケジュール

1. 本会議の目的

コロナ禍以降、本県における在留外国人数は増加しており、令和5年末には過去最高となる25,447人を記録し、在留外国人増加のトレンドは引き続き予測される。

本会議では、今後見込まれる在留外国人の増加に対応すべく、沖縄県の多文化共生施策について、有識者の意見を踏まえて、今後の沖縄県における方向性等に関し、知事に提言を行う。

2. 本会議の主な審議事項

おきなわ多文化共生推進指針の基本的考え方に明記されている方向性に則り議論を進めます。

(1)県全体での連携促進

(2)共生の地域づくり

①在住外国人の地域社会への参加促進

②県民への多文化共生理解促進

(3)在住外国人の自立に向けた支援(コミュニケーション支援・生活支援)

審議事項(2)本会議の目的、進め方、スケジュール

会議 (開催予定日)	審議事項	会議におけるゴール(決定事項)
第1回会議 (令和6年9月25日)	①本会議の委員の紹介ならびに委員長・副委員長の選任 ②本会議の目的、進め方、スケジュール ③沖縄県多文化共生推進事業のふりかえり ④多文化共生推進における意見交換	・委員ならびに委員長・副委員長の選任 ・進め方とスケジュールの承認 ・沖縄県が行ってきた多文化共生のこれまでの取組把握と共通認識 ・課題と対応策についての大枠共有
第2回会議 (令和6年10月23日)	①第1回会議の概要・まとめ ②議題1「県全体での連携推進」 ③議題2「共生の地域づくり」 ④議題3「在住外国人の自立に向けた支援」	・第1回会議で共有した課題と対応策について項目別に整理し、提言案につなげる。
第3回会議 (令和6年11月27日)	①第2回会議の概要・まとめ ②議論できなかった内容について引き続き議論	・第2回会議の続き、まとめ
第4回会議 (令和6年12月25日)	①第3回会議の概要・まとめ ②提言書案に関する意見交換	・提言書の骨子案の確認と確定 ・指針の改定について意見出し ・提言書完成までのスケジュールの確認について

審議事項(3)沖縄県多文化共生推進事業のふりかえり①



これまでの沖縄県の取り組み



2023年 令和5年度	2021年 令和3年度	2020年 令和2年度	2019年 令和元年度	2018年 平成30年度	2017年 平成29年度	2016年 平成28年度	2015年 平成27年度	2014年 平成26年度	2013年 平成25年度	2011年 平成23年度
調査	浦添市広域モデル	調査	やさしい日本語 普及・啓発	石垣市モデル	調査	宜野湾市モデル	宜野湾市モデル	調査	多文化共生×子育て	多文化共生×防災
沖縄県多文化共生推進調査事業 県内の在住外国人への支援及び交流活動等を行う団体および市町村を対象としたヒアリング調査の他、ワークショップの開催。	沖縄県多文化共生モデル等推進事業 モデル地域の浦添市を中心に、県内市町村や市民を対象とした意見交換会、ワークショップ、講演、日本語学習に関する意見交換会等の開催。	沖縄県多文化共生モデル等推進事業 県内の在住外国人および市町村を対象とした実態調査の他、講演、ワークショップの開催。	沖縄県多文化共生モデル等推進事業 やさしい日本語の普及啓発および、市民や市町村を対象とした講演、ワークショップの実施。	沖縄県多文化共生モデル等推進事業 モデル地域の石垣市を中心に、県内市町村や市民を対象とした意見交換会、ワークショップ、講演、地域日本語教室に関する意見交換会等の開催。	沖縄県多文化共生推進調査事業 県内の在住外国人および市町村を対象とした実態調査の他、講演、ワークショップの開催。	沖縄県多文化共生モデル事業 モデル地域の宜野湾市を中心に、県内市町村や市民を対象とした意見交換会、ワークショップ、講演、地域日本語教室の運営等の開催。	沖縄県多文化共生モデル事業 モデル地域の宜野湾市を中心に、県内市町村や市民を対象とした意見交換会、ワークショップ、講演、地域日本語教室開講に向けた意見交換等の開催。	沖縄県多文化共生推進調査事業 県内の在住外国人および市町村を対象とした実態調査の他、講演、ワークショップの開催。	多文化共生×子育て 県内の在住外国人に子育てに関するヒアリング調査、親子で多文化を楽しむイベントを開催。 ひらけ！地球のトビラ、親子で多文化に出会う	多文化共生×防災 多文化共生のまちづくり 防災時における外国人ネットワーク構築のために 県内の在住外国人に災害に関するアンケート・ヒアリング調査、想いを語り合うワークショップ「防災ゆんたくひんたく」開催。

事業実施のポイント

- ・2009年に「おきなわ多文化共生推進指針」を策定し、同指針の基本理念や基本方針、基本的方向性の他、基本的施策例や各関係機関の推進体制を定めた。
- ・同指針策定後、在住外国人や市町村を対象とした多文化共生推進状況調査、地域モデル事業を実施。

審議事項(3) 沖縄県多文化共生推進事業のふりかえり②

多文化ワークショップ
in石垣 2018年度



シンポジウムin石垣
2018年度



シンポジウム
2020年度



市町村調査
2023年度



審議事項(3)沖縄県多文化共生推進事業のふりかえり③

沖縄県の役割 (おきなわ多文化共生推進指針 P26)	市町村を包括する広域地方自治体として、広域的な課題への対応、市町村で十分に対応できていない分野の補完、各関係機関が連携・協力できるような取組の実施。 ①多文化共生に関する全県的な地域住民への意識啓発 ②広域的医療通訳ボランティア制度の構築 ③市町村、関係機関への多文化共生施策の取組促進 ④国、市町村、企業、大学、NPO等との連携・協働の推進
事業実績	・在住外国人や市町村を対象とした調査事業。 ・市町村を対象とした地域モデル事業の実施。
成果	課題
・在住外国人や市町村へ実態調査を行うことで、在住外国人が抱える困難や行政への要望等の課題の判明。 ・在住外国人からヒアリングを行った事項については各関係団体に共有することで、本県の広域的な課題へ対応。 ・地域モデル事業を実施した市がCIR職員(国際交流員)の配置や情報の多言語化、やさしい日本語教室の開催に取り組む等、多文化共生事業を積極的に行うようになった。	・モデル事業の実施にあたっては、実施した自治体の多文化共生施策の取組の促進は行えているものの、他市町村が追随する形とはなっていない。 ・「おきなわ多文化共生推進指針」における「沖縄県の役割」として、「国、市町村、企業、大学、NPO等との連携・協働の推進」が求められているが、連携・協働の推進実績がない。

審議事項(4)多文化共生推進に関する意見交換

※事前調整による委員からコメント抜粋含む

